BookMark 2013年11月号（通巻第65号）
城西大学水田記念図書館報
図書館ホームページ　http://libopac.josai.ac.jp
図書館メールアドレス　library1@josai.ac.jp
TwitterID　@　lib_josai
図書館ツイッターのQRコードはこちら→

図書館は知識という宝探しの場

理学部化学科　准教授・選書委員　堀合　公威

あれほどの猛暑の夏が過ぎ、澄み切った秋の夜空に、中秋の名月がのぼり素晴らしい月見ができたと思ったら、台風が猛威を振い甚大な被害をもたらして、一気に秋の気候に様変わりしてしまった。ともあれ読書の秋の到来である。

近頃、本を持ち歩け・置き場所に困らない電子書籍などが通学途中などで手軽に読める環境になってきたが、秋の夜長を有意義に過ごすために、落ち着いた環境で集中して本を読んでみてはどうだろうか。自己の見聞を広げるには、絶好な機会である。様々な分野の本を実際に手に取ってじっくりと読み、その内容を精査して身に付いた知識として蓄積する時間は誰にでも必要で、人間形成の上で大切な時間だ。書店に行けば、魅力的な様々な新刊本が並んでいる。目新しい流行や時流に乗った本は、自分で買って読まなければならないことも多々あるだろう。

しかし、名著・資料などは中々手が出ないものだ。そんな時、そう図書館に行って読みたい本を探してみてはどうだろうか。本学の図書館には読んでためになる本が並んでいる。（費用には限度があるので必ずしも全てではないが。）目的に叶った本が見つかったら、図書館の落ち着いた環境で読むのも良いし、借り出して自宅・下宿で読むこともできる。藤原正彦氏は「国家の品格」の中で「子供の時に読むべき本を読んでおかないと、大人になってからは読めない」と言っている。この文を読み替えるならば、「学生時代に読むべき本を読んでおかないと、社会人になってからは読めない」となるだろう。安易に無駄な時を過ごすのではなく、自己研鑽の場として、図書館を大いに活用しよう。

話は変わるが図書館の役割とはなんだろう。一昔前は、本などの印刷媒体の収集と貸出であった。現在の情報化社会では、複雑化し様変しており、収集対象は、印刷媒体と情報媒体に広がり時代のニーズに合わせて変化している。大学の図書館の役割に限っても、大学の学生・教職員などへのサービスはもとより、地域住民への利用サービス・他大学図書館間の相互貸出サービスの提供・知的財産の収集および情報発信など、業務も多様化・複雑化している。

平成25年6月14日に閣議決定された「教育進行基本計画」によれば、社会を生き抜く力の養成・未来への飛躍を実現する人材の養成・学びのセーフティネット（誰もがアクセスできる多様な学習機会）・絆づくりと活力あるコミュニティの形成が謳われている。その目的を実現するために、学生の主体的な学習のベースとなる図書館機能を充実し、大学教育に果たす図書館の役割の強化が求められており、教室以外で、これまで以上に学内における学びの場としての重要度が増す方向である。

ともあれ学生諸君には、図書蔵書と言う教材はもとよりインターネット環境が整えられた図書館は、サポート体制も整っており、自習環境としては、学内で最も充実したスペースだ。自宅に籠ってインターネットを使いこなす学生にとって、図書館という限られた場所に制約されるのは不便なものかもしれないが、多くの友人と出会える開かれた図書館というスペースを大いに活用し、学識を深めることを期待している。

図書館は、インターネットだけでは得られない「蔵書」と言う情報が溢れる宝の山である。宝探しを成功させるか否かは、利用者の力量にかかっており、図書館全体の構成を理解してはじめて真の目的情報にたどり着ける。とは言っても初心者にとって、情報収集はハードルが高いものである。そこで効率の良い情報の収集を手助けするために、城西大学水田記念図書館では、学生・教職員に対して、利用講習会を定期的に開くと共に随時利用相談にも応じている。大いに図書館を活用しよう！

アドバイザー通信

メールアドレス：libadvis@josai.ac.jp
ホームページ：http://libopac.josai.ac.jp/apply/adviser.html

学生アドバイザーは「学生が学生に相談できる」制度です。
図書館1 階に常駐し、学習支援を行いながらアドバイザー自身も一緒に成長していくことを目指しています。
今月は関谷さんからのメッセージを紹介します。

学生アドバイザーの現代政策学部4年の関谷です。

今年度は学内外に関わらず通常業務と並行して、ビブリオバトル、図書館総合展、月別展示などいろいろなイベントに携わってきました。特に、先月、横浜で行われた図書館総合展には城西大学の図書館学生アドバイザーとしてポスターなどを初めて出展しました。短期間で仕上げなければならないこともあり不安でしたが、出来上がったポスターや小冊子は訪れた方から好評をいただきました。ありがとうございました。

図書館学生アドバイザーは先月15日で発足から一年が経ちました。今夏にアンケートを実施しましたが、まだまだアドバイザーを利用したことがない学生も多く、もっと広く学生に知ってもらう必要があるようです。

これからも図書館と協力し、切磋琢磨して、アドバイザーの発信力や認知度を高めていきたいと思っています。

アドバイザー制作のポスターで第15回図書館総合展に参加しました

10月29～31日にパシフィコ横浜で行われた図書館総合展のポスターセッションに「学生アドバイザーが考える未来の図書館」というテーマで参加しました。
ポスターは学生アドバイザーの今までの取り組みと、未来の図書館像という二つの視点から図書館を語る、ユニークなものに仕上がりました。特に冊子が好評で、会場ではのべ500部以上が配布されました。
当日の展示では非常に多くの方からアドバイザーやビブリオバトルについての質問を受けました。
展示していたポスターは図書館エントランスで展示していますので是非ご覧ください。

鶴ヶ島図書館まつりに参加しました

9月28、29日に鶴ヶ島市立中央図書館で開催された第26回図書館まつりに参加しました。
今回、水田記念図書館では「Cool JAPAN　浮世絵の魅力― 外国人から見た日本の美 ―」と題して、外国人向けに英語で出版された浮世絵関連の資料を中心に、図書館所蔵の資料を多数公開しました。
また、本学創立者の水田三喜男先生が生前に蒐集された浮世絵コレクションの一部も複製画にて展示しました。
なかでも複数の版木を使って行う多色刷りの工程を解説した展示は多く方の注目を集めました。
この「浮世絵」の展示は12月1日にさいたま文学館で行われる図書館と県民のつどい埼玉2013にも出展します。

ビブリオバトル首都決戦予選会 in 城西を開催

チャンプに選ばれた学生は地区決戦へ出場します

5分という短い制限時間内にお気に入りの本をプレゼンし、観客に「読みたい！」と思わせる事を競う知的書評合戦「ビブリオバトル」。
9月25日に行われた予選会では総勢23名のバトラーが4グループに分かれて激突し、好きな本について熱く語りました。
各ブロックのチャンプ本は以下の通り。

Aブロックチャンプ本

『大富豪アニキの教え 』

丸尾孝俊　著　　ダイヤモンド社

バトラー： 現代政策学部4年　古川さん

Bブロックチャンプ本

『これでいいのか埼玉県』

松立学・山中茂紀　著　マイクロマガジン社

バトラー：現代政策学部1年　岡さん

Cブロックチャンプ本

『14歳 』

千原ジュニア　著　　講談社

バトラー：経営学部3年　猪野さん

Dブロックチャンプ本

『世界から猫が消えたなら』

川村元気　著　　マガジンハウス

バトラー：薬学部4年　小岩井さん

予選会から地区決戦へ！

各ブロックのチャンプは**11月10日（日）に紀伊國屋書店新宿南店の7階サザンシアターロビー**で行われる「地区決戦」に出場します。
さらに勝ち抜けば**11月24日（日）にベルサール秋葉原**で行われる「ビブリオバトル首都決戦2013」で日本一の座を争います。

また、図書館1階では今回のビブリオバトルとの連動企画として、3度にわたる城西大学でのビブリオバトルの様子とその歴史、そしてこれから挑むバトラーのための資料を展示します。会場の様子を撮影した映像や、新聞記事の切り抜きなども展示しておりますので是非ご覧ください。

高麗祭でもビブリオバトルを開催！

11月3日の高麗祭では準チャンプを含む6名が「城西チャンプ」の座をかけて戦いました。

11月2～4日に行われた高麗祭では図書館も「3dayオープンライブラリーin高麗祭」の企画の一つとして、学生アドバイザー主催のビブリオバトルを開催しました。
バトラーは「ビブリオバトル首都決戦予選会 in 城西」チャンプを中心に、6名が参加し、約70名による投票の結果、城西チャンプは『世界から猫が消えたなら』を紹介した小岩井さんに決定しました。

全学部を対象にアンケートを行います

図書館では２年に一度全学を対象としたアンケートを行っています。
皆さんからいただいた意見を参考にして、今後の図書館サービス・設備の向上を目指していきます。
所要時間は５分程度、回答期限は平成25年11月25日(月)から12月24日(火)までです。
よりよい図書館運営のため、ぜひご協力をお願いいたします。

SALAの研修会(Open Library Weeks)を実施しました。

Open Library Weeksは自館および他館の取り組みを紹介し、情報交換することで業務を見直すとともにサービスの向上を目指すSALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)の研修会の一つです。
水田記念図書館は「オンラインを利用した広報活動－ホームページ、Twitter、SNSを中心に－」をテーマに本学の事例報告と、ディスカッションを行いました。当日は8機関の方に参加いただき、活発な議論を交わしました。

11月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

図書館開館時間

□＝9：00～21：00
■＝9：00～19：00
■＝9：00～17：00
■＝休館日です

図書館彙報

坂戸市立図書館で開催されている「本とともだち2ウィークス」に当館所蔵の北沢楽天の風刺画を展示しています。(11月10日まで)

■9月3日　JMLA・JPLAコンソーシアム説明会に参加しました。
■9月5日　マレーシア　サイエンス＆マネジメント大学医学生25名と教員が、図書館を見学しました。
■9月5-6日　JUSTICEコンソーシアム説明会に参加しました。
■9月14日　埼玉県立草加東高校父母・教員22名が図書館を見学しました。
■9月18日　群馬県立藤岡中央高校の生徒39名が図書館を見学しました。
■9月25日　ビブリオバトル首都決戦予選会in城西を開催しました。
■9月28-29日　第26回鶴ヶ島図書館まつりに展示参加しました。
■10月10日　坂戸市立図書館・図書館見学講座で、17名が図書館を見学しました。
■10月12日　群馬県立下仁田高校の生徒22名が図書館を見学しました。
■10月21-25日　就活DVD上映会を開催し、4日間で55名が参加しました。上映DVDは館内視聴できます。
■10月22日　SALAのOpen Library Weeksを本学で開催し、図書館での取り組みを発表しました。
■10月23日　群馬県立前橋西高校の生徒20名が図書館を見学しました。
就職活動に使える日経テレコン利用講習会を開催しました。
■10月24-11月1日　学生選書2013を開催しました。
■10月29日　埼玉県立桶川西高校の生徒30名と教員4名が図書館を見学しました。
■10月29-31日　パシフィコ横浜で開催された第15回図書館総合展のポスターセッションに参加しました。

©編集・発行 城西大学水田記念図書館
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 電話049-271-7736 FAX 049-286-8126